

# 京浜急行電鉄 上大岡駅照明改修



所在地：神奈川県横浜市港南区上大岡西1丁目  
 施工：電気/京急電機(株)  
 照明改修：平成19年12月

京浜急行電鉄上大岡駅は横浜市営地下鉄やバスターミナルなど交通結節点としての役割を担う主要駅。高齢者にも安心して歩行ができるプラットフォームの実現に向けて、省エネで照度のバラツキを抑えた照明の改修が行われました。

## 沿線の中でも3番目に多い乗降客数の交通結節点としての主要なターミナル駅

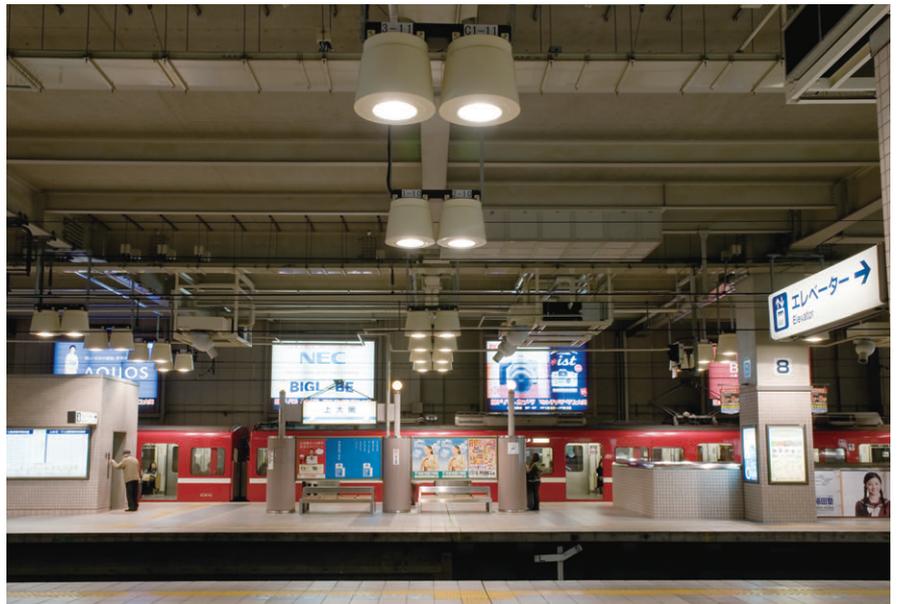
京浜急行電鉄の上大岡駅は、横浜市南部の副都心として発展が進むエリアに位置し、横浜市営地下鉄や各方面から集中する路線バスとの乗換駅として大きな役割を担う、沿線の中でも主要な駅の一つです。1日平均乗降人員が約14万人と、京急横浜駅、京急品川駅に次ぐ乗降者数を数え、交通結節点として多くの利用者が移動するターミナル駅となっています。

ホームは12両編成停車対応の島式ホーム2面4線を有する高架駅で、全ての種別の列車が停車。優等列車と各駅列車の接続をする緩急接続を常時行う駅で、優等列車は主に2・3番線(下り・上り)から発車し、各駅列車については、待避を行わない列車は2・3番線から、待避を行う列車は1・4番線(下り・上り)から発車する構内編成になっています。

## 照度のバラツキを少なくし、安全な歩行に適した照明改修を実施

改修前の照明設備は、ナトリウムランプと蛍光水銀ランプを使用した高天井器具によって、照度のバラツキが大きく、歩行に支障がある照度ムラを生じていました。このたびのホーム改修計画においては、主に均斉度の向上、演色性の向上、さらに省エネと保守性を向上させる目的から照明改修が計画され、150WマスターカラーCDMランプを光源に拡散性の高い反射板のプレアマルチ器具が採用となりました。灯体は銅板を特殊成型し、2台1組の組合せで上下ホームに計244台を配置しています。

「均斉度の向上」においては、左右配光の反射板の採用、さらに照明器具を均等配置で再配置することで床面の照度を十分に確保することができ、高齢者の方でも安全な歩行に適した照明環境を実現しました。また「省エネ性」に対しては、高効率であるCDMランプを使用することにより、電気代を1年間で約42%も削減できる計画となっています。「演色性の向上」では、平均演色評価指数がRa95と、色の再現性に優れているため、これまでの無機質な駅の照明と打って変わり快適に過ごせる環境となりました。さらに「保守性の向上」では、器具にオートリラを搭載したことにより保守管理における作業性が大きく向上しました。このように照明改修によって快適で安全な歩行を促すターミナル駅の公共空間を創出しています。



上りホーム中央部付近 上りホーム中央部付近から下りホームを望む。2台1組のマスターカラー150WCDM反射笠ガード付器具を中央部付近では4列配置する



下りホームベンチ付近 照度のバラツキが少なく床面照度が十分に確保されて、高齢者の安全な歩行をサポートする



3番線上りホーム 改修後は線路沿いの照明配列に加え、中央側の照明器具を配置した



上りホーム階段付近 階段上方からの明るさが確保されて階段面の照度が得られるようになる



照明器具アップ 銅板を特殊成型した灯体にプレアマルチ器具を組合せる

### ■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
プラットフォーム	ガード付反射笠器具(プレアマルチ)	HT-15790(改)	244	マスターカラーCDM150W(CDM-TP150W/942)